

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成24年5月31日(2012.5.31)

【公表番号】特表2012-509008(P2012-509008A)

【公表日】平成24年4月12日(2012.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-015

【出願番号】特願2011-536281(P2011-536281)

【国際特許分類】

H 0 4 W 16/14 (2009.01)

H 0 4 W 40/02 (2009.01)

H 0 4 W 84/18 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 2 1 0

H 0 4 Q 7/00 3 4 2

H 0 4 Q 7/00 6 3 3

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月23日(2012.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線システムで用いる無線ノード（400）であって、前記無線ノードは、前記無線システムの他の無線ノードと情報を交換できるようになされており、一次ユーザによる無線リソースの使用を検出する手段（403）と、前記検出した無線リソースへのアクセスをブロックするためのメッセージを前記無線システムの少なくとも1つの他の無線ノードに送信する手段（401、411）とを備え、前記無線ノードは、特定の時間の間、アクセスをブロックするように構成されていることを特徴とする無線ノード。

【請求項 2】

前記無線ノードは、アクセスをブロックするための前記メッセージを前記無線ノードの近くの他の無線ノードに送信し、それによって前記無線リソースの使用が検出された場所の周りの地理的エリアにおける前記無線リソースのブロックを可能にするように構成されることを特徴とする請求項 1 に記載の無線ノード。

【請求項 3】

前記無線ノードは、アクセスをブロックするためのメッセージを複数のホップにわたって転送するように構成されることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の無線ノード。

【請求項 4】

ホップ／距離依存フィールドを更新する手段をさらに備えることを特徴とする請求項 3 に記載の無線ノード。

【請求項 5】

無線ノードが特定の無線リソースの使用を検出したときはいつでも、ホップ／距離依存フィールドを初期値にリセットする手段をさらに備えることを特徴とする請求項 3 または 4 に記載の無線ノード。

【請求項 6】

前記初期値は動的に設定されることを特徴とする請求項 5 に記載の無線ノード。

【請求項 7】

前記無線ノードは、アクセスをブロックするための前記メッセージの時間フィールドを設定するように構成されることを特徴とする請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載の無線ノード。

【請求項 8】

前記無線ノードは、どの無線リソースにアクセスすべきかを決定するとき、アクセスをブロックするためのメッセージをチェックするように構成されることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の無線ノード。

【請求項 9】

無線システムで用いる無線ノードにおける無線リソースアクセスを制御する方法であって、前記無線ノードは前記無線システムの他の無線ノードと情報を交換し、一次ユーザによる無線リソースの使用を検出する工程（501）と、前記検出した無線リソースへのアクセスをブロックするためのメッセージを前記無線システムの少なくとも 1 つの他の無線ノードに送信する工程（503）とを備え、前記アクセスのブロックは特定の時間の間行われるように設定されることを特徴とする方法。

【請求項 10】

アクセスをブロックするための前記メッセージは前記無線ノードの近くの他の無線ノードに送信され、それによって前記無線リソースの使用が検出された場所の周りの地理的エリアにおける前記無線リソースのブロックを可能にすることを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

アクセスをブロックするための前記メッセージは複数のホップにわたって転送されることを特徴とする請求項 9 又は 10 に記載の方法。

【請求項 12】

ホップ／距離依存フィールドを更新する工程をさらに備えることを特徴とする請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

特定の無線リソースの使用を検出したときはいつでも、ホップ／距離依存フィールドを初期値にリセットする工程をさらに備えることを特徴とする請求項 11 または 12 に記載の方法。

【請求項 14】

前記時間はアクセスをブロックするための前記メッセージの中に設定されることを特徴とする請求項 9 乃至 13 の何れか 1 項に記載の方法。

【請求項 15】

どの無線リソースにアクセスすべきかを決定するとき、アクセスをブロックするためのメッセージをチェックする工程をさらに備えることを特徴とする請求項 9 乃至 14 のいずれか 1 項に記載の方法。